

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	安野智子		
NAME	YASUNO Satoko		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

1. 研究課題

(和文) 日本人の政治知識と外国イメージ

(英文) The state of Japanese knowledge about foreign countries

2. 研究期間

2022年度 ～ 2023年度

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文600字程度、英文50word程度)

(和文) 本研究の目的は、現在の日本人が「外国」についてどのような「知識」を持っているのか、それはどの程度正確なのか、また、海外に関する知識がどのような情報源によって獲得されているのかを検討することである。またあわせて、「正確な知識の獲得を妨げる要因」、たとえばSNSによるデマや誹謗中傷の拡散についても検討する。

本研究では、海外に関する知識の現状について実態を把握するとともに、その規定要因について検討を行った。主要な知見となる2022年度ウェブ調査(2022年11月)の結果は以下のとおりである。①情報接触の手段が伝統的なマスメディアからSNSなどに移行していること、②賞賛獲得欲求が誹謗中傷などの悪意ある投稿の要因であること、③(データの取得費は本研究課題によるものではないがN=1051のウェブ調査により)ウクライナの人口構成に関する正解率は約2割、国交のある国についての5つの設問に正しく答えられた人は3割など、政治的知識の水準は従来の知見のとおり高くないが、マスメディアやネットニュースが正解率を有意に高めていた。

これらの知見は、情報量が増大した現代においても有権者の政治的知識は低い水準にあること、また、伝統的なマスメディアやネットニュースにすら接触しない場合、賞賛獲得欲求の高いユーザの(必ずしも根拠のない)投稿により、誤った知識に接触しやすくなる可能性を示唆している。

(英文)

The aim of this project is to reveal the state of Japanese people's knowledge about foreign countries, and also to investigate the information acquisition process. The main findings are as follows: (1) the state of people's knowledge on international affairs is still low, and (2) the main sources of information have shifted to social media, which may increase the exposure to false information.